

平成29年 6月 定例会

◆（淵上陽一君）2点目の質問は、菊池川流域の日本遺産認定と今後の観光振興についてであります。

日本遺産は、文化庁が2015年から始めた認定制度で、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年を目途に、全国で100カ所の認定を目指しており、これまで合計54カ所の日本遺産が誕生しています。

その認定に当たっては、文化財を個別の点としてではなく、地域に点在する有形、無形の文化財を一つのストーリーとして関連づけた面の遺産としての価値が審査されます。

認定を得ますと、文化庁からガイドの養成費用や外国語パンフレットの作成費用などが補助されることになっており、こうした面での手当てが手薄な郡部の市町村にとっては大変有益な制度であると思います。

熊本県では、人吉・球磨10市町村による「相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里一人吉球磨～」が第1次の認定を受けており、それに続けと、山鹿市、玉名市、菊池市、和水町の3市1町共同で、菊池川流域をめぐる日本遺産ストーリー「米作り、二千年にわたる大地の記憶～菊池川流域「今昔『水稲』物語」～」を申請しておりましたところ、去る4月28日、3年越し、2回目の挑戦にして、晴れて日本遺産の認定を勝ち取りました。

菊池川流域をめぐる日本遺産の最大の特色は、古代から現代まで2,000年に及ぶ我が国の米づくり文化の縮図と、それに伴って生み出されてきた有形、無形の豊かな文化財の双方に出会うことができる希少な地域という点にあります。

そのストーリーは、33件の文化財によって構成されております。その中には、菊池川、菊池渓谷を初めとする自然、弥生時代からの米づくりの歴史を今に残す大集落遺跡群、条理による区画割、用水路、かんがい施設、干拓排水施設、米の出荷施設を初め、米づくりがもたらした富と財力を背景に築かれた、全国の3分の1を占める装飾古墳群を含む数多くの古墳、豊前街道と八千代座、造り酒屋、数々の祭りと踊り、そして豊かな山海の幸が生んだバラエティーにあふれる郷土料理等々が含まれております。

菊池川流域では、こうした有形、無形の価値ある文化財を、コンパクトに見て回り、体験できることから、そこには、例えば周回性の高いストーリー・ルートが設定可能でしょうし、菊池川流域全体で取り組まれているフットパスのルートにも活用できます。

また、菊池川流域で生産される米は、毎年、我が国最高ランクのおいしい米と評価が定着しており、例えば日本遺産菊池川流域米といったネーミングをつけた米を軸として、流域独特の食文化をパッケージして打ち出すことで、一層魅力的な旅のプランが構築できるのではないかと考えます。

また、この地域は、今回の日本遺産ストーリーに加えて、大きな歴史的発見の可能性を秘めているのではないかと、大いに期待していることがあります。

皆さん、昨年9月に出版された「邪馬台国は熊本にあった!～『魏志倭人伝』後世改ざん説で

見える邪馬台国〜」、邪馬台国が熊本平野にあったという本を御承知でしょうか。

この本の著者は「魏志倭人伝」の新たな解釈に基づいて、邪馬台国は熊本平野にあったという新説を展開した上で、熊本平野の数ある遺跡の中で、弥生時代後期の巨大集落遺跡である山鹿市の方保田東原遺跡に注目し、今後の発掘調査に大変大きな期待を抱いています。

そうした折も折、本年3月10日、国の文化審議会が、この遺跡で発掘された952点の出土品を重要文化財に指定するよう文部科学大臣に答申したとのニュースが飛び込んできました。

方保田東原遺跡の発掘は、遺跡全体の10%弱、吉野ヶ里遺跡の20分の1程度しか進んでいないにもかかわらず、国指定重要文化財の数では吉野ヶ里の10倍に上るという事実が示すとおり、その考古学的価値の高さに、いよいよ期待が高まります。

発掘調査が一層進展し、我が国古代史最大の謎である邪馬台国を解明する大発見が誕生することを心から願うとともに、県の強力な御支援をお願いする次第でございます。

さて、私は、以前の質問の中で、本県の観光は、天草、熊本市、阿蘇を持つ東西の軸に比べて南北の軸が弱いことを指摘し、観光資源の整備や道路交通網の改善に取り組むべきであることを指摘いたしました。

その後、県南では、青井阿蘇神社の国宝指定と人吉・球磨地域の日本遺産認定、県北では、万田坑の世界遺産登録と今般の菊池川流域の日本遺産認定を得たことによって、県の南北に立派な太い軸が通りました。

また、東西の軸も、世界遺産登録を待つ天草・崎津集落、既に世界遺産となった三角西港、熊本地震を経て以前に増して国内外の注目を集める熊本城、そして、世界農業遺産、世界ジオパークの阿蘇のカルデラと、より一層の厚みを増しています。

皆さん、熊本県の地図を頭に浮かべながら、私が今申し上げた東西と南北の軸を描いた上で、この軸に皆さんの地元の自然や観光資源、文化財をつなげてみてください。そうすれば、熊本県がいかにも多種多様の観光資源に恵まれているか、改めておわかりいただけるものと思います。

こうした宝物を、点から面へと有機的に結びつけ、国内外に向けて強力で発信していくことによってこそ、本県の観光に新たな時代を開くことができるものと私は信じます。

先月22日、熊本県観光審議会が、熊本地震からの観光復興の指針となる「ようこそくまもと観光立県推進計画(2017~2019)」を知事に答申されました。

この答申の中で示された数値目標は、延べ宿泊者数を2015年の720万人から2019年には800万人に、延べ外国人宿泊者数を64万人から120万人に、観光消費額を3,240億円から3,800億円に、それぞれ増加させると設定されています。

この目標の中でも、外国人来訪者の倍増を達成するためには、従来行ってきた観光施策に加え、新たな熊本の魅力を総合的かつ強力で発信することがその一歩と信じます。

そこで、知事に2点お尋ねいたします。

1点目は、知事が生まれ育ったふるさとである菊池川流域が日本遺産に認定されたことに対して、どのような思いをお持ちか、お聞かせください。

2点目は、これまで申し述べましたとおり、私は、今熊本県の観光にとって、さまざまな新たな風が吹いていると感じておりますが、県としては、菊池川流域の日本遺産認定を、いかなる形で取り込んで観光客誘致につなげ、地域の活性化、ひいては県民幸福量の最大化に活用していただける御所存か、お尋ねいたします。

〔知事蒲島郁夫君登壇〕

◎知事（蒲島郁夫君） まず、菊池川流域の日本遺産認定に関する私の思いについてお答えします。

このたび、関係者の皆様の熱意と御尽力により、菊池川流域が日本遺産に認定されたことを、知事として大変うれしく思います。さらに、私のふるさとである菊池川流域の魅力あふれる歴史や文化財が全国に認められたことを、とても誇らしく思います。

私は、子供のころ、菊池川流域に伝わる米原長者伝説の中に出てくる炭化した米を見つけたことがあります。それ以来、豊かな米づくりを背景とした地域の歴史や文化に興味を持ち続けてきました。知事となった今でも、郷土の歴史や文化を大切に守り、育む取り組みを率先して進めています。

今回、全国に数多くある米どころの中で、日本の米づくりのストーリーとしては、菊池川流域が初めて日本遺産に認定されました。今後、日本人の米づくりに対する情熱やひたむきな姿を、地元の皆様とともに、国内外に積極的に発信してまいります。

さらに、将来を担う子供たちへ、熊本の先人たちが抱いてきた米に対する思いを伝え、ふるさとへの誇りを醸成し、確実に次世代へ継承していきます。

次に、観光客誘致への活用についてお答えします。

今回の日本遺産認定は、熊本地震により傷ついた熊本観光の立て直しにとって、大きな後押しになると確信しています。

この菊池川流域の日本有数のおいしい米の産地という特性を生かし、本年3月からスタートした食と観光を絡めたくまもとグルメツーリズムプロジェクトにも盛り込んでいきたいと考えております。

また、八千代座、高瀬御蔵跡、菊池溪谷などの魅力的な観光資源を活用し、広域的な周遊観光ルートの開発、旅行商品化にも取り組んでまいります。

さらに、2019年夏には、JRグループと共同で国内最大規模の観光キャンペーンを実施することが決定しています。このような機会を捉え、熊本の新たな魅力をPRしていきたいと考えております。

県としては、先月発足した菊池川流域日本遺産協議会を核として、地元自治体や民間団体などもしっかりと連携、協力しながら、国内外からの誘客に積極的に取り組んでまいります。

〔淵上陽一君登壇〕

◆（淵上陽一君） 知事より、菊池川流域が日本遺産に認定されたことは、熊本観光の立て直しの大きな後押しになるとの答弁をいただき、私も改めて、観光振興による地域活性化の推進をすると、決意を新たにしたところであります。

ここで、1点お願いを申し上げます。

我が県は、国内外からの観光客の増加を目指して、蒲島知事を先頭に、さまざまな努力が続けられております。その一方で、県からの観光情報の発信に関しては、競合する隣接他県と比べて、非常に弱いと感じられてなりません。これは、九州各県の県庁のホームページを比較してみられると、一目でおわかりいただけると思います。

この際、これまでの県全体の観光情報発信体制を総チェックした上で、個別ばらばらの形ではなく、県全体の観光資源をわかりやすくアピールし、旅行者がそれぞれお気に入りのルートを選択することができるような、あくまでも利用者の視点に立った形での総合的な情報発信へと脱皮していただくよう、早急かつ的確な改善を求めたいと存じます。